

令和元年度船橋市所蔵作品展

まちを描く／まちで描く

— 絵画に見る郷土の姿



新保和三郎〈ヨットのいる船だまり〉 1994年

出品作家

つばき さだお 橋 貞雄 (1896-1957)	すずき よしお 鈴木 善雄 (1941-2016)
こみやま しゅん 小宮山 俊 (1918-2006)	きたい かずお 北井 一夫 (1944-)
うしく けんじ 牛玖 健治 (1922-2012)	あらい けいこ 荒井 恵子 (1963-)
しんぼわ さぶろう 新保和三郎 (1928-)	いのうえ つよし 井上ゆかり (1979-)
いで ぶんぞう 井出 文蔵 (1936-)	うりゅう つよし 瓜生 剛 (1981-)

令和元年12月10日(火)～12月15日(日) 午前10時～午後6時30分 船橋市民ギャラリー

入場無料

主催：公益財団法人 船橋市文化・スポーツ公社／船橋市教育委員会
協力：(holbein) ホルベイン画材株式会社



船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 ビル 3階
Tel. 047(420)2111

令和元年度船橋市所蔵作品展

まちを描く／まちで描く

—絵画に見る郷土の姿

船橋市では地域の美術振興のため「ゆかりの作家」の調査研究を行っています。船橋で生まれた芸術表現にはどのようなものがあるのだろうか。船橋に住む芸術家はどのような人たちなのだろうか。このたびの展覧会では、船橋市所蔵作品およびゆかりの芸術家やその遺族の手元にある作品を中心に、近年の調査をもとに、船橋という土地へのまなごしを描いた作品を紹介します。

船橋市は昭和12年に近隣町村が合併して誕生したことから始まりますが、「船橋」という地名は、鎌倉時代に編纂された歴史書『吾妻鏡』に認められます。一方、この地名が示す土地には、その名が付けられる前、縄文時代以前から人々が暮らし、文化や芸術がはぐくまれていました。その痕跡は、市内にのこる遺跡やそこから出土した遺物などからうかがえます。

同様に、船橋市で暮らし始めた芸術家が創り出した作品を見ていくと、芸術家個人を超えて、この街の歴史や暮らしが垣間見えるテーマが浮かび上がってきます。本展では「海を描く」／「郊外の暮らし」をキーワードに、船橋市で生み出された表現を、近代から現代にかけて活躍した芸術家の仕事から見ていきます。これらの作品を通して郷土美術史／地方美術史の一端をご覧いただければと思います。

会 期／令和元年12月10日(火)～12月15日(日)

開館時間／午前10時～午後6時30分

会 場／船橋市民ギャラリー ☎047(420)2111

関連イベント

■対話型アート鑑賞プログラム『アトリップ』

アトリップは、ニューヨーク近代美術館の「認知症の方のための対話型アート鑑賞プログラム」をベースに、日本人に向けて開発された独自のプログラムです。認知症の方も、ご家族も、あらゆる人が一緒に対話を通してアートを楽しみます。

日時：12月12日(木) 午後2時～午後3時

講師：アーツアライブ認定アートコンダクター

対象：認知症当事者、その家族、介護者、知人の方

定員：10名(先着順)

協力：一般社団法人アーツアライブ

要事前申し込み。11月15日(金)から、船橋市民ギャラリーにお電話でお申込みください。

■学芸員によるギャラリートーク

美術担当学芸員による展示解説です。

日時：12月13日(金) 午後2時～午後3時

講師：益子実華(船橋市教育委員会学芸員)

対象：どなたでも

申し込み不要。当日会場にお集まりください。

*すべての関連イベントは参加費無料、会場は船橋市民ギャラリーです。

■美術フォーラム

「今あらためて考えたい“芸術の意味について”

現代社会において人が豊かに生きるために芸術はどのような役割を果たすのか？今回の美術フォーラムでは、アートセラピーやホスピタルアートの実践を例に、「芸術の意味について」考えていきます。

日時：12月14日(土) 午後2時～午後4時

講師：有賀三夏(画家、アートセラピー研究者、東北芸術工科大学 講師)

対象：どなたでも

定員：30名

申し込み不要。当日会場にお集まりください。

■アーティストトーク

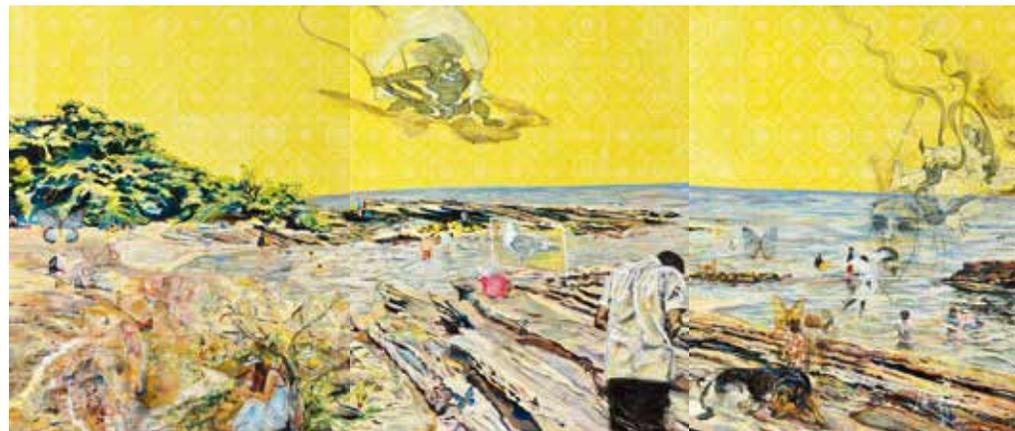
出品作家／荒井恵子・井上ゆかり・瓜生剛によるトークです。

日時：12月15日(日) 午後2時～午後4時

対象：どなたでも

定員：30名

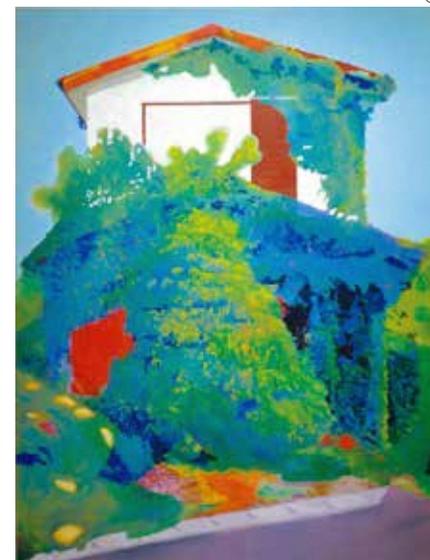
申し込み不要。当日会場にお集まりください。



①



②



③

- ①井上ゆかり《壮大な独り言》2018年
- ②荒井恵子《天と地の宴—古代IV》2007年
- ③瓜生剛《緑の家》2008年

展覧会のみどころ

第一部：市所蔵作品を中心に椿貞雄から北井一夫まで近代・現代に船橋で活躍した芸術家の作品を展示します。

第二部：船橋にゆかりのある現代美術家の「まちの風景」をテーマに制作した作品を紹介。三番瀬の干潟に着想を得て抽象的なイメージを描いた荒井恵子、船橋市の中学校連携授業を通して制作した井上ゆかり、郊外の街並みを時間の侵蝕という観点から定点観測した瓜生剛の3氏による新作を展示します。

問い合わせ・申し込み先 **船橋市民ギャラリー ☎047(420)2111**